

た + す + と

2010年7月

第13号

市民活動や地域活動をしている方、
これから活動したいと思っている方に
役立つ情報を隔月で発信しています。

●もくじ●

- P 2 市民活動のちから
アルコールを飲まない生き方のために ～A A仙台港北グループ
- P 3 地域づくりいちから塾開催報告
地域づくりに一歩踏み出すコツ
- P 4 地域と企業が元気になる社会貢献物語
多賀城北日本自動車学院編
- P 5 さぼせん広場～たがサポ出前プロジェクト～開催報告
たがサポちゃん市役所までお出かけ！
たがサポ事業紹介
たがサポブックレビュー
『アイスブレイク入門ーところをほぐす出会いのレッスン』
- P 6 **たがサポからのお知らせ**
『たがサポ』とは？
『たがサポ』の機能って？

今月のひとコマ



書類や物品の整理に困っていませんか？
→詳しくは右のコーナーへ

市民活動団体が活動する上で必要な書類や物品等をどのように保管しているのでしょうか。代表者が自宅で保管したり、メンバーが各々保管するという場合も多いのではないのでしょうか。例えば、急に物品が必要になったとき、わざわざメンバーの自宅まで取りに行くのは一苦勞です。重要な書類を管理するのも個人に負担がかかってしまいます。

そのようなことを解決するために、たがサポには団体で利用できる貸しロッカーを設置しています。ロッカーに書類や物品を入れておけば、いつ誰が来ても利用することができます。大量の紙を保管しておき印刷機を利用するときにロッカーから取り出すこともできます。もちろん普段は鍵がかかっているのでメンバー以外の人が開ける心配はありません。

利用料は1ヵ月200円。「た+す+と」12号で紹介したレターケースと合わせて利用するとさらに便利。書類や物品の収納でお困りの方、まずは窓口へお越しください。

地域や社会の課題解決に取り組む団体をご紹介します

市民活動のちから

市民活動とは、地域や社会の課題を自主的に解決する活動です。このコーナーでは、行政や企業だけでは解決できない課題に取り組んでいる団体を紹介します。

アルコールを飲まない生き方のために

AA 仙台港北グループ

●言いつばなし聞きつばなし

たがサポでは月に2回、あるミーティングが行われています。集まるのは主にアルコール依存症で悩んでいる人や過去に依存症だった人たちです。

ミーティングでは毎回テーマが設けられ、参加者一人一人が自分の経験や感じていることを思いのままに話します。それに対して他の参加者が意見や質問をすることはありません。参加者は決まった時間の中で話したいだけ話すことができ、時には笑い声がもれることもあるそうです。話した内容は決して口外しないことがミーティングのルールになっています。また、参加者には「アノニマスネーム」と呼ばれるニックネームがあり匿名性が守られています。

途中で退室したり遅れての参加も自由で、会場にはお茶やお菓子も用意されています。参加費は無料ですが、参加者からは献金(寄付)を募り貸室の利用料やお茶菓子代などの活動資金に当てています。

●依存症から自分を取り戻すために

ミーティングを主催しているAA(アルコールクス・アノニマス)は、アルコール依存症に悩んでいる人がアルコールを飲まない生き方を続けていくために活動している団体で、その活動は全世界に広がっています。AA 仙台港北もそのグループの一つで、活動は平成21年8月から続いています。

自分たちの依存症の経験を誰かに伝えることで、悩んでいる人たちが「自分と同じように悩んでいる人がいる」、「自分だけじゃない」、「変われるんだ」という気持ちになってほしいとミーティングの参加者は話しています。ミーティングに参加してアルコールのことを忘れて、元気をもらったり、定期的に語れる場所があることは参加者の楽しみにもなっています。ミーティング参加者の中には何年もアルコールを飲まない生活を続けてい

る方もいます。

このように病気や悩みなどを抱えた人たち同士が問題解決のためのヒントを見つけ、仲間を支える活動をしているグループのことをセルフヘルプ(自助)グループといいます。

●依存症は身近な課題

アルコール依存症という病気は、本人に自覚がなく依存症であることを素直に認められずにいるケースも多く、AAにたどり着く前に命を落としてしまう人もいます。

それでも10年前に比ベインターネットの普及も進み、AAの活動は全国的に知られるようになってきました。隣の仙台市でも10以上のAAグループが日々活動しています。一方で多賀城や周辺市町ではアルコール依存症への理解が十分だとは言えません。病気と認識せず批判的に捉えている人もおり、アルコール依存症の人にとっては世間の目を気にしながら地域で孤立してしまう可能性もあります。実際、地元からの参加は少数で遠方からの参加者が圧倒的に多いのが現状だそうです。

「多賀城市周辺でもアルコール依存症に悩んでいる人はたくさんいるはず。」と参加者は話しています。今後も、毎週ミーティングを開くことや夜に開くなどさまざまな人が参加しやすい環境を整えることを目標にしながら活動を続けていきます。

<ミーティングの日程>

日時：毎月第2・4金曜日 13:30から

場所：多賀城市市民活動サポートセンター

ミーティングには誰でも参加可能。アルコール依存症の方とその家族はもちろん、薬物・ギャンブルなどの依存症の方、相談を受ける専門職の方も参加できる。申込不要。直接会場へ。

<問い合わせ>

AA 日本ゼネラル・サービス・オフィス (J S O)

TEL : 03-3590-5377

HP : <http://www.cam.hi-ho.ne.jp/aa-jso/>

地域づくりいちから塾開催報告

地域づくりに一歩踏み出すコツ

多賀城市市民活動サポートセンターでは、昨年度まで『NPO いちから塾』として開催していた講座をリニューアル。今年度は『地域づくりいちから塾』を年間で4回開催します。

今回は5月27日に実施した第1回目の様子をお伝えしながら『地域づくりいちから塾』の内容を紹介します。

日時:平成22年5月27日(木)
午後7時~8時30分
会場:多賀城市市民活動サポートセンター
101会議室
講師:多賀城市市民活動サポートセンター
スタッフ

●地域づくりの担い手はさまざま

地域づくりと聞いて、みなさんはどのような活動を思い浮かべるでしょうか。講座ではまず、地域づくりの活動をイメージしてもらおうと、4つの事例を紹介しました。

- NPOによる託児を通した子育てを応援する活動。
- 町内会による防災訓練などの取り組み。
- 若いころの経験を活かし、地域の防犯活動をしている個人の方。
- 気軽に参加できる商店街のごみ拾いをきっかけに、まちづくりに関心を持つ若者が増えていった活動。

このように地域づくりの活動は、NPO、町内会、個人などさまざまな組織や人によって取り組まれ、まちを元気にしているのです。

●NPOのいろは

地域づくりの活動の中で、NPOという言葉は耳にしますが、具体的な活動内容や組織の仕組みなどはよくわからないという方が多いです。そこで、NPOの基礎についてポイントをしばって説明しました。

ポイントの一つにNPOの非営利の意味があります。NPOは民間非営利組織と訳されますが、「儲けてはいけない」というイメージがありますが、非営利のもつ意味は、利益をあげてはいけないということではありません。特定の人や組織に分配しないということです。結果、利益が出た場合、利益を次の活動に使うのです。

そのほかにも、NPOの成り立ちやNPO一般とNPO法人のちがいについてもお話ししました。

●関心事を知る棚卸しワーク

新聞を使って地域の活動の記事を探すというワークも実施しました。「好き」「興味がある」「おもしろい」「NPO」などをキーワードに読んで気になるものをどんどん切り抜いて

いきました。切り抜いた記事をあらためて見てみると、共通点が浮かび上がり、それが、今自分が興味・関心を持っていることだというのに気がつきます。

このように自分の興味関心や問題意識、好きなものを知ることが、地域づくりを始める第一歩になります。



今回の参加者は5名。「NPOについてよくわからない」「ボランティア・NPOを始めてみたい」という方、町内会・自治会活動に参加・運営している方に参加していただきました。受講後の参加者からは、「ワークで自分の興味・関心のあることが改めて確認することができた。」「NPOの成り立ちについて、事例に沿って知ることができた。」「NPOの基礎的なことがわかった。」などの感想がありました。

このように『地域づくりいちから塾』は、地域や社会のお役に立ちたい方、何か活動を始めたい方、NPOについて知りたい方を対象に、地域づくりに関する基礎的な情報や活動に一歩踏み出すためのコツをお伝えする講座です。

今年度はあと3回開催します。みなさんの参加をお待ちしています。

<今後のスケジュール>

- 9月 9日 (木) 19:00~20:30
- 12月 4日 (土) 10:30~12:00
- 平成23年
- 2月 15日 (火) 19:00~20:30

地域と企業が元気になる 社会貢献物語

多賀城北日本自動車学院 編

●地域の足を支えます！

「多賀城おでかけバス万葉号」

みなさんは、多賀城市内を運行している「多賀城おでかけバス万葉号」をご存知ですか。乗車された方はもちろん、「万葉号」と表示されたバスを見かけた方や、告知用のポケットティッシュを受け取った方もいると思います。「万葉号」とは、交通手段の確保が困難な西部地区の市民のために、北日本自動車学院が社会貢献活動として、自社の送迎バスを市民に開放している取り組みです。運行に関する経費や人員を同社が負担し、市民は無料でバスを利用することができます。なぜ北日本自動車学院は、このような活動に取り組んでいるのでしょうか。

きっかけは平成19年5月までさかのぼります。市内西部地区で唯一の路線バスが利用者減少のため廃止となりました。この状況を受けた多賀城市は、千葉県我孫子市の取り組みをヒントに、市内企業の送迎用バスを地域に開放して地域の足を支える新しいしくみを市内企業へ広く提案しました。長年地域住民を対象とした交通安全教室を開催し、地域社会への貢献に取り組んできた北日本自動車学院が多賀城市の提案を受け「万葉号」の運行を引き受けることになりました。



●地域のニーズに応じて

平成19年12月から運行がスタートした「万葉号」は、運行本数・ルートなどについて、

平成21年度、当センターでは「地元企業による地域貢献・社会貢献活動調査」を実施しました。この調査をもとに、多賀城市近郊の企業による社会貢献活動の事例をご紹介します。地元企業は、どのように社会貢献活動を行い、市民や行政と協働して地域課題に取り組んでいるのでしょうか。

今回は、昭和38年6月に開校し、50,000人以上の卒業生を輩出している多賀城北日本自動車学院の活動事例をご紹介します。

積極的に市民や行政と対話を進めながら検討し、改善してきました。

平成22年5月末日までに利用者は累計で7,000人を超え、特に岩切駅・多賀城駅や市役所の利用を目的とした高齢者や若者に親しまれる存在となっています。

●社内も元気になる社会貢献

一方で、北日本自動車学院は、岩手・宮城内陸地震において、避難所で移動手段を失った被災者へ運転手付きの教習車を提供する活動にも取り組みました。被災地では輸送支援に留まることなく、一人暮らしのお年寄りのお茶飲み相手や買い物、犬の散歩、新聞配達、病院への送迎など、現地の声に応えながら支援活動や交流を行いました。教習車が被災地を走っていると、地元住民から手を振られるほどの信頼関係を築いたそうです。

これらの活動を通じて、社員は日常業務では得られない体験をし、自らの仕事に新たな誇りを持つことができました。そのことが社員の仕事へのモチベーションを向上させ、会社全体の活性化にも好影響を与えているのです。

いまCSR(企業の社会的責任)の取り組みの一つとして、社会貢献活動が注目されています。

北日本自動車学院の取り組みは、自動車学校としての特性を活かし、それを地域社会に提供することによって、交通弱者を支える大きな役割を果たしています。同時に、その取り組みは社員や組織にも活力を生み出し、地域と企業の両方を元気にしているのです。

多賀城北日本自動車学院

住所: 多賀城市宮内1-16-10

TEL: 0120-55-8703

さぼせん広場～たがサポ出前プロジェクト～
開催報告

たがサポちゃん
市役所まで
お出かけ！



「さぼせん広場」とは、市民活動サポートセンターの機能を丸ごと外へ持ち出し、より多くの市民にたがサポを知っていただき、活用していただくための事業です。年に5～6回、市内各公民館や市役所ロビー、総合体育館などで開催する予定です。

今年度の第1回は、5月17日(月)～27日(木)まで多賀城市役所1階ロビーで開催しました。

今回は特に、多賀城市に転入してきたばかりの方に、市内の市民活動団体やたがサポを知ってもらおうと、団体の活動の様子やたがサポの機能を紹介するパネルを貼り出しました。また、自由に持ち帰ることができるチラシなども配置しました。

今後もいろいろなところに出前しますので、お近くの際にはぜひお立ち寄りください！

たがサポ事業紹介

※詳細は、ホームページやブログでお知らせします。URLは6ページをご覧ください。

◆7月22日(木) 19:00～21:00
地域づくりパワーアップ講座
「資金調達のコツ」

◆9月9日(木) 19:00～20:30
地域づくりいちから塾

たがサポブックレビュー

「たがサポ文庫」の中から、スタッフおすすめの1冊を紹介します。



『アイスブレイク入門
— ところどころ出会いのレッスン —』

著者：今村光章
発行：解放出版社 発行日：2009年3月



地域や学校、職場などでは、顔見知りだけれどほとんど話したことのない人が集まって会議をしなければならぬ場面があります。ごちない雰囲気の中で活発な意見交換があまりできず、困ってしまったという経験はありませんか。

★L-029ハウツーの棚にあります
はじめて出会った人たちのところをほぐして、和やかなコミュニケーションをとることができるようにする技術のことを「アイスブレイク(氷を砕く)」といいま

す。アイスブレイクは『集団の「固さ」を突き崩すダイナマイトのような役割と、人と人とをくっつけるセメントのような役割を果たすもの』だそうです。本書では、すべての参加者が見えるように座って行う「チェーン術」、一人一人と知り合うための「ペア術」、6人ぐらいのグループでゲーム形式に進める「グループ術」の3つの技術を紹介しています。また、意識的に参加者の名前を呼ぶように心がけること、進んで輪に入っていくことなど、進行上の具体的なコツについても教えてくれます。

会議の進行役を頼まれたとき、会議前のほんの15分間、アイスブレイクを使って見知らぬ人同士の出会いの緊張をほぐす演出をしてみませんか。

【スタッフ 小幡輝美】

■たがサポ文庫
情報サロン内にある市民活動に関する図書・雑誌が貸出・閲覧できます。

■図書販売コーナー
NPO・市民活動団体が発行する図書(報告書、パンフレット等)を販売しています。詳しくは窓口までお問い合わせください。

- お預かりします：NPO・市民活動団体が発行する図書等をお預かりし、市民の皆さんへ販売をしています。自分たちの活動を広く知ってもらう機会となるだけでなく、団体の収益にもつながります。
- 購入できます：一般の書店では見つけにくい団体の書籍もあります。購入していただくことによって、団体の活動を詳しく知ることができ、資金面での支援にもつながります。



たがサポからのお知らせ

開館3年目を迎える平成22年度。多賀城市では新たな市民活動団体も増え、町内会と同じように地域づくりに欠かせない存在となりました。こうした状況を分析し、当センターでは新たな運営方針を定めました。

平成22年度たがサポの運営方針

- 1. 相談対応能力を充実させること**
市民活動の現場で生まれる課題に適切に対応し、分野・専門性にとらわれずどんな相談にも対応できる窓口を目指します。
- 2. 現役世代の参画をうながすこと**
多賀城市は20代～40代が多い街です。社会や地域の中で元気に活動する現役世代がもっと市民活動に参画したり、そのサービスを使えるきっかけを増やします。
- 3. WEB情報を強化すること**
ホームページとブログを組み合わせ、施設情報の他に市民活動団体から社会に向けた情報発信を応援するコンテンツを整備します。

これらの取り組みを進めつつ、一方で地元企業や市役所各部署との連携を図りながら、市民活動とそれらをつなぐ「協働の地域づくり」を実現するための事業を展開していきます。これからも、地域づくりに頑張る市民のみなさんを応援し、多賀城の元気が笑顔が集まる場所になれるよう、10名のスタッフが力を合わせて頑張ります！

当センターを利用される 企業・お店などのみなさんへ 営利目的による会議室の予約申し込み 期間変更について

当センターでは、より市民活動団体のみなさんが利用しやすい環境を整えるため、企業や商店・個人事業者などが営利目的で利用される場合に限り、平成22年7月1日から会議室の予約申し込み期間を以下の通り変更いたします。

■従来(平成22年6月29日(火)まで)
大会議室:使用日の6ヵ月前から受け付け開始
会議室・和室:使用日の3ヵ月前から受け付け開始



■変更(平成22年7月1日(木)より)
大会議室:使用日の1ヵ月前から受け付け開始
会議室・和室:使用日の1ヵ月前から受け付け開始

市民活動や営利を目的としない共益活動については変更ありません。

ご不明な点等がございましたら、事務局までお問合せください。

■『たがサポ』とは？

市民の皆さんが行うまちづくりや地域づくりにつながる活動を総合的に応援することを目的として設置した施設です。市民・自治会・学校や企業の皆さんとの間で協働によるまちづくりを推進することも目的としています。

開館時間:月～土曜日 午前9時から午後9時30分まで
日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
休館日:毎週水曜日(水曜が休日の場合、翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)
交通案内:JR仙石線多賀城駅より徒歩12分
駐車場・駐輪場があります

■『たがサポ』の機能って？

- ①市民活動の場の提供**
 - ・貸室(有料)
市民活動の研修やイベント、会議等に使用できます。
 - ・交流サロン(予約不要・無料)
少人数の打ち合わせや事務作業などに利用できます。
 - ・レターケース(無料) ※利用申込受付中
 - ・ロッカー(200円/月) ※利用申込受付中
 - ・事務用ブース(1,000円/月)
 - ・印刷作業室
印刷機(用紙持ち込み/1製版100円/500枚)
コピー機(10円/枚)
 - ②市民活動に関する情報の収集・提供**
 - ・情報サロン
市民活動に関するさまざまな情報があります。
チラシ・ポスターの受付、図書(閲覧用)、助成金情報、ボランティア情報、パソコン(作業・インターネット用/無料)
- ※団体紹介パンフレット・イベントチラシなどをお持ちください！
- ③市民活動に係る人材の育成・支援
 - ④市民・企業・行政の連携及び交流の推進
 - ⑤市民活動に関する相談への対応



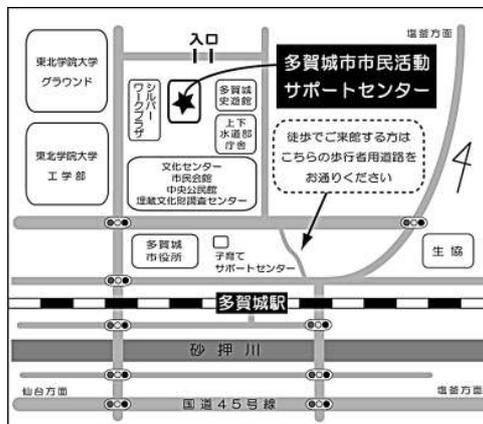
多賀城市市民活動サポートセンター
公式ホームページ
<http://www.tagasapo.org/>
事務局スタッフブログ
<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

ぜひチェック
してくださいね

■たがサポは皆さんに支えられています

□自動販売機の設置
たがサポ内に設置している自動販売機の売り上げの一部は、多賀城市内の市民活動の推進のために使われます。協力企業:宮城中央ヤクルト販売(株)

□印刷作業室のコピー機
印刷作業室のコピー機は、コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社の市民活動を応援するという趣旨により、社会貢献価格にてご提供いただいております。



□発行:多賀城市市民活動サポートセンター
〒985-0873 多賀城市中央二丁目25-3
TEL:022-368-7745 FAX:022-309-3706

□発行日:2010年6月20日

□編集:特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター